高柳記念未来技術創造館　特別展

「イ」の字受像100周年記念特別展

–未来へ映す、過去からつなぐ–

事前予約不要

1 飛び出す3D映像で「イ」の字を学ぼう



ドーム型立体視システムをのぞくと、
映像が目の前に浮かび上がります。
専用のメガネをかけて、「イ」の字の特別映像
（上映時間 4分16秒）を体験しよう。



2 真空管ってなに？ 実物と中身を見てみよう



昔のテレビや音楽をならす機器に使われていた本物の真空管を展示。
それぞれの役割を知ることができます。
さらに、X線CTで撮影した真空管の内部を、立体視ディスプレイで
見ることができます。

3 骨片・石器を3Dで見てみよう



3D表現イメージ

人文社会科学部 山岡 拓也 教授 協力

静岡県浜松市の行者穴遺跡から出土した、加工の跡がある骨片や石器（後期旧石器時代）を、写真から3Dモデルを作る技術（フォトグラメトリ）やX線CTで3D化しました。

展示期間

11/7（土）11/8（日） 9:30～16:00

全年齢対象（一部の展示に年齢制限あり） 人数制限なし（一部の展示は待ち時間あり）

その他にも！

常設展（2F）
2026年に100周年を迎える、テレビ受像が成功した「イ」の字の原板など、高柳先生の偉業とブラウン管の歴史に触れることができます。

100th Since1926

https://wwp.shizuoka.ac.jp/tmh/